反射テスト 数列 等差数列 02

1. 次の等差数列の一般項を求めよ. (S 級 30 秒, A 級 1 分, B 級 2 分, C 級 3 分)

(1)

(2

(3)

(4)

n	1	2	3	4	
a_n	5	10	15	20	

n	1	2	3	4	
a_n	60	54	48	42	•••

反射テスト 数列 等差数列 02 解答解説

1. 次の等差数列の一般項を求めよ. (S 級 30 秒, A 級 1 分, B 級 2 分, C 級 3 分)

igstyle 初項 a_1 , 公差 d の等差数列 $\{a_n\}$ の一般項は $a_n=a_1+d(n-1)$

初項4,公差4

$$a_n = 4 + 4(n-1)$$

$$= 4n \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$$

ti ment at the

初項 - 15, 公差 12

(2)

$$\therefore a_n = -15 + 12(n-1)$$

$$= 12n - 27 \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$$

ightstar a **確かめ** $n=1,2,3,\cdots$ を代入してみる.

初項 50, 公差 -8

$$a_n = 50 + (-8) \cdot (n-1)$$

$$= -8n + 58 \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$$

 $\star n = 0$ から始まる数列 a_1 の値を初項として考えればよい.

$$a_1 - 3$$
,公差 2

$$a_n = -3 + 2 \cdot (n-1)$$

= $2n - 5$ ($n = 0, 1, 2, \cdots$)

☆注意 他の問題と()内の表記が違うことに留意. この問題では0から始まる.

★初項
$$a_0$$
 , 公差 d の数列 $\{a_n\}$ $a_n = a_0 + dn$ と考えてもよい.

ightstar**確かめ** $n=0,1,2,\cdots$ を代入してみる.

2. 次の等差数列の一般項を求めよ. (S級30秒, A級1分, B級2分, C級3分)

初項5,公差5

$$\therefore \quad a_n = 5 + 5(n-1)$$

$$=5n \quad (n=1,2,3,\cdots)$$

(2)

初項 - 15, 公差 11

$$a_n = -15 + 11(n-1)$$

$$=11n-26$$
 ($n=1,2,3,\cdots$)

 \triangle **確かめ** $n = 1, 2, 3, \cdots$ を代入してみる.

(3)

初項 60, 公差 -6

$$a_n = 60 + (-6) \cdot (n-1)$$

$$= -6n + 66 \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$$

(4)

 \bigstar n=0 から始まる数列

a₁ の値を初項として考えればよい.

$$a_1 - 3$$
,公差 4

$$a_n = -3 + 4 \cdot (n-1)$$

$$=4n-7$$
 ($n=0,1,2,\cdots$)

☆注意 他の問題と()内の表記が違うことに留意. この問題では0から始まる.

★初項
$$a_0$$
 , 公差 d の数列 $\{a_n\}$ $a_n = a_0 + dn$ と考えてもよい.

$$\triangle$$
 確かめ $n=0,1,2,\cdots$ を代入してみる.